

令和2年1月17日

病院内での薬剤紛失についてのご報告とお詫び

地方独立行政法人市立大津市民病院

理事長 増田 伊知郎

院長 若林 直樹

令和2年1月15日16時ごろ、手術室の薬品庫において、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で毒薬に指定されている麻酔用筋弛緩薬（ロクロニウム臭化物静注液50mg/5.0mL「F」）1瓶が紛失していることが判明いたしました。直ちに手術室内、廃棄物保管場所、その他関係各所を徹底して捜索し、関係職員からの聞き取り調査を行いました。現時点においてまだ発見に至っておりません。

当該薬が毒薬であるため1月17日に大津市保健所に報告し、同日大津警察署に届出を行いました。

今後このような事態を起さぬよう、引き続き原因究明に努めるとともに、職員一丸となり、より一層の安全管理に努めていく所存です。

この度は、患者さんをはじめ市民の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。